

報道各位

新潟市環境政策課

潟（かた）フェス2024の開催について

国内初となるラムサール条約の湿地自治体認証に基づく、国際的な都市ブランド化及び地域における湿地の保全や賢明な利用の促進を図ることを目的として、下記のとおりイベントを開催します。

つきましては、広報活動へのご協力について、よろしくお願いいたします。

■ 主催

新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議

■ 開催日時

令和6年2月12日（月・祝） 午前10時～午後5時

■ 会場

新潟日報メディアシップ1F、2F（中央区万代3-1-1）

■ イベント概要 ※詳しくは別添チラシをご参照ください。

（1）エントランスホール（展示ほか）【1F】（午前10時～午後5時）

- 市内の里潟の魅力や保全活動等に関するパネル等の展示
- 市内の里潟を紹介する写真やPR動画等の放映
- 子どもたちが楽しめる体験ブース設置やスタンプラリー（景品あり）
- イベント限定の「湿地カード」をプレゼント

（2）日報ホール（講演・発表会）【2F】（午後1時30分～午後4時30分）

※要申込（定員200名）

《講演》

①藤田 美幸 氏（新潟国際情報大学経営情報学部 准教授）

（演題）「潟」におけるアドベンチャーツーリズムの創造 ～福島潟の事例から～

②堀 昌伸 氏（出水市ツル博物館館長兼ラムサール推進室長）

（演題）『出水ツルの越冬地』における保全と利活用

③松浦 和美 氏（株式会社U・STYLE 代表取締役）

（演題）人と水辺の間で ～「潟」とエリアブランディング～

《発表・展示》

①葛塚東小学校（北区）3年生

④赤塚小学校（西区）6年1組

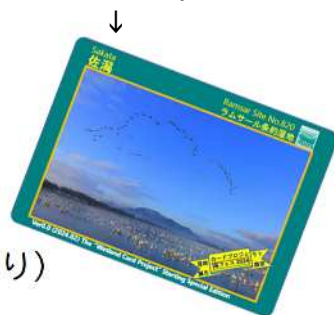
②岡方第一小学校（北区）6年1組

⑤赤塚中学校（西区）生徒会

③高志中等教育学校（中央区）生徒会

⑥松野尾小学校（西蒲区）3年1組

<限定☆キラキラ>湿地カード
（全6種類）
何がもらえるか、お楽しみ！！



【お問い合わせ先】

新潟市環境政策課 高橋・成田

電話025-226-1359(直通)

ラムサール条約湿地自治体認証記念



Wetland City Network

入場無料

潟かたフェス 2024

国際湿地都市
NIIGATAの
未来を考えよう

「潟(かた)」などの湿地が残る新潟市は、ハクチョウなどの自然と人との共存の場となり、日本で初めて、ラムサール条約の湿地自治体認証を受けました。新潟市の「潟」について、もっと知って体験してみよう。

2024年2月12日 月・祝
10:00-17:00

会場

新潟日報メディアシップ1F・2F
(新潟市中央区万代3丁目1-1)

お越しの際は公共交通機関をご利用ください

僕も会場で待ってるよ！



福島潟
マスコットキャラクター
「クイクイ」

潟フェス限定版

「湿地カード」を1枚プレゼント!!

会場内でポイントを集めて全6種ある「湿地カード」をコンプリートしよう。更に潟缶バッジ、オリジナル手ぬぐいもあるよ。

潟に関する取組展示

1F みなと広場
2F 日報ホールホワイエ

団体・学校による取組や「潟」に関わる資料・情報を展示します。

作って、遊んで、学んで 1F みなと広場

「潟」に触れてみよう!

ヒンメリワークショップ

潟かるた

潟釣り

申し込み方法は裏面をご覧ください

要申込 講演・発表

先着200名
入場無料



司会

伊勢みずほさん
フリーアナウンサー

2F 日報ホール | 13:30-16:30 (受付12:30~)

第1部 講演



藤田 美幸氏
新潟国際情報大学
経営情報学部 経営学科
准教授



堀 昌伸氏
出水市ツル博物館
「クレインパークいずみ」館長
兼ラムサール推進室長



松浦 和美氏
株式会社U-STYLE
代表取締役

第2部 発表

湿地の環境学習成果発表

- ・赤塚小学校
- ・葛塚東小学校
- ・松野尾小学校
- ・岡方第一小学校
- ・赤塚中学校
- ・高志中等教育学校

主催 | 新潟市、新潟市里潟研究ネットワーク会議 | 後援 | 国土交通省北陸地方整備局
| 問い合わせ先 | 新潟市環境政策課 TEL.025-226-1359

潟かたフェス 2024

2月12日 月・祝
10:00-17:00
新潟日報メディアシップ1F・2F

要申込 講演・発表

2F 日報ホール
13:30-16:30 (受付12:30~)

先着
200名
入場無料

第1部 | 基調講演



藤田 美幸氏
新潟国際情報大学
経営情報学部
経営学科 准教授

「潟におけるアドベンチャー
ツーリズムの創造・自然と
共生する「えちごエコネット」
〜福島潟の事例から〜

ICTと地域資源を活用した地域活性、
地域愛着、地域ブランディングについて
研究。近年ではマーケティングの観点
から、新しい観光・ツーリズム現象に
ついて研究調査をおこなっている。
えちごエコネット推進協議会委員*



堀 昌伸氏
出水市ツル博物館
「クレインパークいずみ」
館長 兼ラムサール推進室長

「出水ツルの越冬地」
における保全と
利活用

1994年出水市役所入庁後、主に観光
振興に関わり、2022年4月より現職。
2021年に「出水ツルの越冬地」がラム
サール条約湿地に登録。2022年、
新潟市とともに国内初のラムサール
条約湿地自治体認証を受ける。



松浦 和美氏
株式会社U・STYLE
代表取締役

人と水辺の間で
「潟」とエリア
ブランディング

鳥屋野潟と共に生きてきた地域の人々の
話に感動し、語り継ぎ本「潟ボーイ's」
シリーズを企画・制作。人と潟の関わりを
ヒントに「潟マルシェ」「とやの潟ウインター
キッチン」などのコンテンツを発信。新潟
市里潟研究ネットワーク会議メンバー

※「えちごエコネット」とは？

「越後平野における生態系ネットワーク」
の愛称です。越後平野において、多様な
人々の連携・協働により生態系ネット
ワークの形成を目指すとともに、自然の
価値や魅力を活かした地域の活性化
を図る取り組みです。



司会

伊勢 みずほさん
フリーアナウンサー

宮城県出身。主な出演に「BSNテレビ
水曜見ナイト」「近藤丈晴の独占ごき
げんアワー」。新潟市動物愛護協会
理事、新潟薬科大学非常勤講師

第2部 | 湿地の環境学習成果発表

- 赤塚小学校 6年1組
「佐潟とともに〈私〉と未来」
- 葛塚東小学校 3年生
「調べよう葛塚のじまん〜福島潟のよさ〜」
- 松野尾小学校 3年1組
「時間が経つのがあつという間！
みりよくいっぱいの上堰潟公園」

- 岡方第一小学校 6年1組
「岡方の宝 十二潟！」
- 赤塚中学校 生徒会
「赤塚中学校の佐潟クリーン活動の取り組み」
- 高志中等教育学校 生徒会
「鳥屋野潟フィールドワークの成果報告」

お申し込み |
新潟市役所コールセンター

お電話からお申し込みください
TEL.025-243-4894

1月30日(土)から申し込み開始
受付時間8:00~21:00 (年中無休)

作って、遊んで、学んで 潟ポイントを集めよう!

周って遊ぶと貯まる潟ポイントカードを配布。
集めたポイント数に応じて、潟フェス限定版「湿地カード」(全6種)、
潟缶バッジ・オリジナル手ぬぐいをプレゼント! (先着順)



潟ポイント

福島潟のヨシを使った ヒンメリワークショップ

フィンランドに古くから伝わる折りのモビール
「ヒンメリ」。福島潟のヨシを使った、ヒンメリの
正八面体作りを体験しよう! 協力:北欧工芸研究会

10:00/11:00/13:00/14:00/15:00/16:00
各回10名 所要時間30~40分



「湿地カード」とは?

全国各地のダムで配布して
いる、人気の「ダムカード」。
「湿地」でもこのカードにより
「湿地めぐり」を楽しめるよう、
まずは新潟市から、市内の6つ
の潟のカード(「潟フェス
2024」限定版)を作成。今後
の展開にご期待ください。

潟ポイント

潟かるた

「潟」の特徴を読み札にした
かるたに挑戦! 時間内に
何枚取れるかな?

潟ポイント

福島潟の「ヒシの実」 「ハスの実」試食

えちごエコネットの取組紹介や
福島潟の「ヒシの実」「ハスの実」
の試食を実施します。



焼き芋販売

佐潟がある西区特産物
いもジェンヌ、福島潟がある
北区特産物しるきーもの
焼き芋販売。甘く美味しい
焼き芋を是非食べ比べ
してください。



当日2階の様子は
1階マルチビジョンで
ライブ配信します。

潟ポイント

潟釣り

お題に書かれた潟に
住んでいる魚を見つ
けて釣り上げよう!

潟ポイント

クイクイも 遊びに来るよ

クイクイと一緒に
写真撮ってSNS
に投稿しよう。



「潟」に関する資料や情報をまとめた
デジタル博物館もチェック!

新潟市 潟のデジタル博物館
NIIGATA CITY WETLAND DIGITAL MUSEUM

潟に関する 取組展示

1F
みなと広場
潟を学ぶパネル、企業・団体による取組、潟の生きもの展示

2F
日報ホールホワイエ
新潟市内6つの潟に関する
学校・団体の取組展示 (潟ポイント)

【出展者】えちごエコネット推進協議会(国土交通省北陸地方
整備局、水の駅ビュー福島潟)、出水市、松野尾小学校、
赤塚中学校、高志中等教育学校、新潟市東区じゅんさい池、
新潟市水族館マリニピア日本海、三井住友海上
火災保険株式会社

World
Wetlands Day
2 February 2024



Wetlands and Human Wellbeing
このイベントは毎年2月2日「世界湿地
の日」の関連イベントとして開催します。